

授業科目                      身体障害作業療法評価学実習 I

【担当教員名】  泉 良太、岩波 潤	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：G10】  
身体障害領域における作業療法評価を実施するために、各検査の基本的な知識・技術を修得する。

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 身体障害領域における作業療法評価について説明できる。
  2. 各検査の意義と方法について列挙できる。
  3. 疾患に応じて適切な検査を選択できる。
  4. 作業療法の評価計画を立てることができる。
  5. 作業療法の対象となる人や障害に関心を持つことができる。
  6. 一般的な礼節を身につける。
  7. 予習・復習を実施し積極的に授業に参加する。
  8. 検査を繰り返し練習し熟練する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	関節可動域測定	1-8	講義・演習、担当：岩波 潤
2	関節可動域測定	1-8	講義・演習、担当：岩波 潤
3	筋力検査（徒手筋力検査 他）	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
4	筋力検査（徒手筋力検査 他）	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
5	筋力検査（徒手筋力検査 他）	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
6	筋力検査（徒手筋力検査 他）	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
7	姿勢反射検査	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
8	筋緊張検査	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
9	協調性検査	1-8	講義・演習、担当：岩波 潤
10	摂食・嚥下機能検査	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
11	上肢機能検査	1-8	講義・演習、担当：岩波 潤
12	各検査のまとめ	1-8	講義・演習（泉・岩波）
13	脳血管障害の評価（片麻痺機能テスト、画像評価含む）	1-8	講義・演習、担当：岩波 潤
14	頸髄損傷の評価（Zancoli の分類、ASIA の分類、画像評価含む）	1-8	講義・演習、担当：泉 良太
15	まとめ	1-8	講義・演習（泉・岩波）

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新・徒手筋力検査法 原著第8版	Helen J. Hislop 他	協同医学出版社	2008・7,500円＋税
	ベッドサイドの神経の診かた 改訂17版	田崎 義昭 他	南山堂	2010・7,200円＋税
	作業療法評価学 第2版	岩崎 テル子 他	医学書院	2011・5,800円＋税
参考書	分担解剖学	森 於菀 他	金原出版	1982・9,300円
	神経局在診断 改訂第5版	Peter Duus 他	文光堂	2010・10,000円＋税
その他の資料				

【評価方法】 授業態度（2割程度）、実技試験（4割程度）、 定期試験（4割程度）	【履修上の留意点】 受講にあたり、骨・筋・神経系を中心とした解剖生理学的知識が要求される。 骨・筋を確認しながら検査を実施するため、半袖・半ズボンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。
--	--